

23. スギ花粉症に対する舌下免疫療法

耳鼻咽喉科気管食道科

白坂邦隆, 吉田博一, 盛川 宏, 平山 裕,
今野 渉, 平林秀樹, 馬場廣太郎

薬剤部

岩瀬利康, 越川千秋

【目的】 スギ花粉症に対する舌下免疫療法の効果を検討した。

【対象・方法】 スギ花粉症患者延べ88名に対し, 2004年と2005年のスギ花粉シーズンに, 当院で独自に作製したスギ標準化エキスを含有するゼラチン錠を用いた舌下免疫療法を施行し, 症状スコアと有害事象をプラセボ投与群と比較検討した。

【結果】 実薬で1シーズンのみ治療した群ではプラセボとの間に大きな差を認めなかった。一方, 2シーズン連続して実薬で治療した群では, プラセボ群との比較で特に鼻閉が強く抑制されていた。治療を要する有害事象は認められなかった。

【結論】 スギ花粉症に対する舌下免疫療法は有効かつ安全な治療法であることが示唆された。治療効果は2シーズン連続することで, より顕著に表れた。

24. レーザー屈折矯正手術後の涙液中コンドロイチン硫酸濃度変化

獨協医大越谷病院 眼科

西尾正哉

【目的】 レーザー屈折矯正手術 (PRKおよびLASIK) 後のヒト涙液中コンドロイチン硫酸 (CS; コンドロイチン-4-硫酸; C4Sおよびコンドロイチン-6-硫酸; C6S) 濃度変化を測定する。

【対象・方法】 対象はレーザー屈折矯正手術を受けた7例14眼 (PRK2眼, LASIK12眼)。涙液はマイクロキャピラリーを用いて採取し, ELISAにて測定した。測定時期は術前, 術後1日, 4日, 1週, 1ヵ月, 3ヵ月とした。

【結果】 術前のCSは左右眼で同程度の濃度で, 個体差が大きかった。各CSの間に相関関係はなかった。PRK術後ではC4Sが術後4日から1ヵ月まで大幅に上昇した。LASIK術後ではC6Sが術後1日目に一過性に上昇し, 以後徐々に低下し, 術後3ヵ月日には術前に比べ有意に低下した。

【考察】 涙液中CSはレーザー屈折矯正手術の創傷治癒に関与している可能性がある。